

Overview: アウトライン I と II は全聖書とエゼキエル書の主題とゴールが神の建造であることを示します。III はキリストが建造の材料であること、IV は神の民が建造の材料になるために、彼らは神の家によって測られ、暴露され、聖別されなければならないこと、V は召会生活、からだの生活が私たちの霊性の最大のテストであることを示します。

I. 全聖書は、建造の書です。聖書の主題は、神の建造です。

II. エゼキエル書は、主の栄光の現れのビジョンをもって始まり、神の聖なる建造のビジョンをもって終わります。これが示していることは、主の栄光、神の裁き、主の回復が、すべて神の聖なる建造のためであるということです。

III. サムエル記下第7章 12節から14節前半における予表の予言によれば、キリストは神の家としての召会を建造する方であり、召会が建造されるのに用いられる要素でもあります:

A. キリストは、家、彼のからだです。キリストはまた、建造する方でもあります。

B. キリストが召会を建造するのは、ご自身を私たちの中へと建造し込むことによってです。すなわち、私たちの霊の中へと入り、ご自身を私たちの霊から私たちの思い、感情、意志の中へと拡大させて、私たちの魂全体を占有することによってです。

C. この建造、すなわち、神の神性と私たちの贖われ、復活させられ、引き上げられた人性とのミングリングは、神の住まいと私たちの住まい、すなわち、相互の住まいとなります。

D. 最終的に、この建造は、新エルサレムにおいて究極的に完成し、永遠に至ります。新エルサレムの中で、神の贖われた民は、神が住む幕屋です。そして神ご自身は、彼の贖われた民が住む宮です。

(第一日と第二日)

IV. 主はエゼキエルに、神の民に対して神の家を書き記すようにと指示しました。それは、彼らが家によって測られ、自分たちの罪科を恥じ入るようになるためです:

A. 神の意図は、イスラエルの民の生活と振る舞いを家によって調べることでした。エゼキエル書において、神はご自身の民を宮によって測りました:

1. 神の家が彼らの規則となるべきであったので、神はエゼキエルに命じて、家の設計を彼らに示させました。
2. 神の宮は模範です。もし民がこの模範の光の中で自分自身を調べるなら、彼らは自分の欠点を知るでしょう。
3. 民の生活は、神の宮に符合しなければなりません。

B. 私たちがエゼキエル書から見る必要のある事は、内住するキリストの要求が神の家にしたがっているということです。あらゆる人は、神の家の寸法にしたがって測られ、調べられなければなりません:

1. 私たちの振る舞いと行為は、道徳的な規則と霊的な原則だけにしたがって調べられるべきではなく、召会、神の家にしたがっても調べられるべきです。
2. 私たちの主要な関心事は、正しく振る舞うことや霊的になることにあるべきではなく、神の家に符合することにあるべきです:
 - a. 私たちは、「格子窓」を持っていないかもしれません。この格子窓が表徴するのは、命を与える霊の交わりが、神聖な交流を開き続け、すべての消極的な事物が侵入するのを防止するという事です。
 - b. 私たちは、建造によって自分の人性を調べ、イエスの人性を私たちの人性とする必要があります。
 - c. 私たちは依然として「滑らかな木」であって、神の「彫刻」を経験しておらず、こういうわけで城壁に彫刻されたケルビムやしゅろの木によって表徴される、キリストの栄光のかたちや栄光の勝利の表現を持っていないことを、私たちは認識するでしょう。
 - d. 私たちは測られて、私たちが適切な寸法の「木」であるかどうか、また独立しておらず建造されているかどうかを、見る必要があります。
3. もし、私たちであるものと私たちの行なう事が、神の建造に符合することができなければ、それは神の目に無と数えられます。

C. 「家の律法は次のとおりである。[家のある]山の頂とその周り全体の全地域は最も聖である。見よ、これが家の律法である」:

1. 山の上にあることは、復活の中にあることと、昇天の地位にあることです。これが示していることは、召会が高くなければならず、山の頂になければならないということです。
2. 召会はまた、聖なるものでなければならず、この世的な事物すべてから分離され、聖別されていなければならない。
3. 神の家の律法は、神の特性と関係があります:
 - a. 神は、高い神であり、すなわち、復活と昇天の中にあります。また彼は、聖である神です。
 - b. このように、地位において召会が高く、性質において召会が最も聖なるものです。
 - c. 私たちの召会生活の中で、もし私たちが復活の中にあり、昇天の地位にあるなら、そしてもし私たちが最も聖なるものであるなら、そのとき私たちは神の住まいとなることができます。

D. 今日の大部分の信者は、道徳の規則と霊的な原則が、振る舞いや行為の規則として十分であると感じています。私たちの振る舞いや行為が、道徳の規則と霊的な原則だけにしたがって調べられるべきではなく、召会、神の家にもしたがって調べられるべきであることを、認識している人はほとんどいません。

E. 今日の主の関心事は、律法ではなく、家です。主の関心事は、霊性ではなく、召会です:

1. 主が顧みるのは、召会、すなわち、彼の御座の場所、彼の足の裏の踏む場所、彼が住んで、安息と満足を得ることのできる場所です。
2. 主は召会、彼の家をとて顧みているのですから、私たちも彼の家としての召会を顧みて、自分自身を家と符合させるべきです。

V. からだの生活は、私たちの霊性の最大のテストです。もし私たちがからだの生活のテストを通過することができなければ、私たちの霊性は真のものではありません:

A. 霊性は、からだの事柄です。私たちが持っているあらゆるものは、からだの中にあり、からだを通してであり、からだのためです。

B. からだの中には、独立や個人主義はあり得ません:

1. からだの生活の中で、個人主義的な思想や行動は除き去られます。

2. 個人主義は、神の目に憎むべきものです。からだの敵は、自己、すなわち、独立した「私」です。

C. 私たちは、からだの一を保ち、ブレンディングを実行しなければなりません。ブレンディングは、キリストのからだの一を保つのに最も助けとなります。

D. キリストのからだの実際は、復活の力を通してキリストの死へと同形化される団体の生活です。

E. キリストのからだの実際は、キリストの復活の命の中にあります。からだは、信者たちが完全にキリストの復活の命の中にいることを要求します。

F. キリストだけがからだのかしらであり、彼だけが、からだの肢体の行動を指揮する権威を持っています。

G. 私たちは、からだの感覚を持って、からだの感覚とからだの平安を顧慮する必要があります。

H. からだの成長と発展のための基本的な要求は、私たちが自分の度量を認めて、それを越えないことです。

I. からだには、その正しい順序があります。こういうわけで、私たちはからだの中にある順序を認め、尊重すべきです。

J. 相互性は、からだの特徴です。からだにおける私たちの関係は、相互性と相互依存の関係です。

K. 神聖な交わりは、キリストのからだの中に生きることにあります。

L. 私たちは、からだの成長と、からだに愛の中でそれ自身を建て上げることを、顧慮する必要があります。

M. 私たちはいつも、からだを考慮し、からだを顧慮し、からだを尊び、からだにとって最も益である事を行なうべきです。

N. 勝利者は、からだを見て、からだを認識し、からだを顧慮し、からだを尊び、からだの働きを行ないます。彼らは、キリストのからだ(地上におけるキリストの継続と拡張)のあらゆる原則を守り、キリストに満ち満ちた表現を得させます。

I. 全聖書は、建造の書です。聖書の主題は、神の建造です。

出 25:8 彼らにわたしのために聖なる所を造らせなさい。それは、わたしが彼らの中に住むためである。

サムエル 7:12-14 下 あなたの日が満ちて、あなたが父祖たちと共に眠るとき、わたしはあなたの身から出るあなたの子孫をあなたの後に起こし、彼の王国を堅く立てる。13 彼がわたしの名のために家を建て、わたしは彼の王国の座を永遠に堅く立てる。14 わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。もし彼が罪科を犯すなら、わたしは人の杖をもって、また人の子のむちをもって彼を討つ。

エペソ 2:21 その方の中で、建物全体が共に組み合わされ、主の中にある聖なる宮へと成長していき、(第一日)

マタイ 16:18 …わたしは…わたしの召会を建て、ハデスの門も、それに勝つことはない。(第二日)

II. エゼキエル書は、主の栄光の現れのビジョンをもって始まり、神の聖なる建造のビジョンをもって終わります。これが示していることは、主の栄光、神の裁き、主の回復が、すべて神の聖なる建造のためであるということです。

エゼキエル 1:1 …天が開き、私は神のビジョンを見た。

III. サムエル記下第7章12節から14節前半における予表の予言によれば、キリストは神の家としての召会を建造する方であり、召会が建造されるのに用いられる要素でもあります：

エペソ 3:17 また、キリストが信仰を通して、あなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができるよう。またあなたがたが、愛の中に根ざし土台づけられ、(第二日)

I テモテ 3:15 …神の家の中でどのように振る舞うべきかを、あなたに知ってもらうためです。神の家とは生ける神の召会であって、真理の柱また基礎です。(第三日)

IV. 主はエゼキエルに、神の民に対して神の家を書き記すようにと指示しました。それは、彼らが家によって測られ、自分たちの罪科を恥じ入るようになるためです：

エゼキエル 43:10-11 人の子よ、あなたは、イスラエルの家に対して家の模型を書き記して、彼らが自分たちの罪科のゆえにへりくだられるようにし、彼らに家の模型を測らせよ。11 もし、彼らが自分たちの行なったすべてのことのゆえに、へりくだられるなら、彼らに家の設計、配置、その出口、その入り口、その全体の設計、すべてのおきて、すなわち、その全体の設計とすべての律法を知らせよ。そしてそれらを彼らの目の前に書き留めて、彼らにその全体の設計とすべてのおきてを守らせ、それらを行なわせよ。

エゼキエル 40:16 詰め所とその柱には、内側と城門の周囲に格子窓があった。廊にも内側と周囲に窓があり、しゅろの木がそれぞれの柱にあった。

ピリピ 2:7 かえってご自身をむなしくし、奴隷の形を取り、人の姿になられて、8 人としての有り様で見いだされ、ご自身を低くして、死にまでも、しかも十字架の死に至るまでも従順になられました。(第四日)

エゼキエル 43:12 家の律法は次のとおりである。山の頂とその周り全体の全地域は最も聖である。見よ、これが家の律法である。

エペソ 2:5 わたしたちが違犯の中で死んでいた時、わたしたちをキリストと共に生かし(あなたがたが救われたのは、恵みによるのです)、6 キリスト・イエスの中で、わたしたちを彼と共に復活させ、彼と共に天上で座らせてくださいました。(第五日)

V. からだの生活は、私たちの霊性の最大のテストです。もし私たちがからだの生活のテストを通過することができなければ、私たちの霊性は真のものではありません：

エペソ 4:16 この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、組み合わされ結合され、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

I コリント 12:27 今や、あなたがたはキリストのからだであり、そして各自は肢体なのです。(第六日)

経験①: 召会建造の唯一の材料は私たちによって経験されたキリストである

サムエル記下第7章でダビデは、私たちの多くのように、神がご自身のために何かを建造するのに自分を必要とされるという間違った観念を持っていました。ある人はこれを聞くとき、今日私たちは努力して召会を建造しようとしているのに、どうしてこの観念が間違っていることがあり得るのかと思うかもしれません。召会を建造することは、神のために何かを建造するという事柄ではないでしょうか？この質問に答えるためには、一見して私たちが召会を建造している者であっても、実は神がキリストを唯一の要素として召会を建造しておられる方であることを、認識する必要があります。私たちが神のために語ることによって建造する働きをいくら行なおうとすると、神は私たちを調べて言われるでしょう、「あなたは私の家を建てようとするのか？何の材料で私の家を建てるのか？」。私たちはキリストをもって召会を建造していると言うなら、神は、私たちがどれほど多くのキリストを持っているのかと尋ねられるでしょう。これは、私たちがキリストに欠けていることを暴露します。私たちは単に名や知識においてキリストを必要とするのではなく、実際のキリスト、復活におけるその霊としてのキリストを必要とします。私たちはみな、さらに多くのキリストを必要とします。

私たちには聖書の多くの知識があり、聖書を人に教えることができるかもしれませんが、これが召会を建造する道ではありません。召会は聖書の知識で建造されるものではありません。召会はキリストを唯一の要素として建造されるのです。多くの時、キリストをもって聖徒たちを建造しようとした後、私は自らに問わなければなりません、「あなたはどれほど多くのキリストを聖徒たちに供給したのか？あなたは神のエコノミーに関する教理や高い真理を供給したのか？それとも真のキリスト、真実のキリスト、復活におけるその霊としてのキリストの実際を供給したのか？」。そのとき私はキリストに欠けていたことを告白し、悔い改めて、言わなければなりません、「主よ、赦してください。私はなおもあなたに欠けています。私はあなたが私の中へと造り込まれることを必要とします。あなたがさらに私の存在の中へと構成されることを必要とします」。

在職青年編

ビジネス・パーソンであるあなたは、神の家の建造が究極のゴールであることを認識すると同時に、建造の材料はあなたが経験したキリストであることを認識してください。

1コリント3:10 …どのようにその上に建てるのか、各自は注意しなさい。11 なぜなら、据えられている土台のほかに、だれも他の土台を据えることはできないからです。この土台は、イエス・キリストです。12 ところが、その土台の上に、人が金、銀、宝石、木、草、刈り株をもって建てるなら、13 それぞれの人の働きはあらわになります。なぜなら、かの日それがそれを明らかにするからです。すなわち、それは火によって現され、その火自身が、それぞれの人の働きがどんなものであるかを証明するのです。

神の家の建造の材料は、キリストのさまざまな経験を示す金、銀、宝石です。もしあなたが自分の天然の方法と力によって建てるなら、それは木、草、刈り株をもって建てることになり、その結果、建造するのではなく、破壊してしまいます。あなたはここで、あなたの血気や力などは建造の材料になり得ないことを認識してください。

あなたの奉仕の動機は、決して嫉妬や自分の栄光を求めることなどであってはなりません。動機がどうであれ、目的が正しければそれで良いのではないかと言いついてはいけません。奉仕の動機は、建造の材料と直接つながっていますので、あらゆる不純な動機は罪の告白によって対処されなければなりません。また、奉仕を実施するときに、あなたは自分の天然の力や知恵に頼ってはいけません。天然の力や知恵に頼ることは、キリストの経験を必要とせず、木、草、刈り株で建てることになります。実際には木、草、刈り株で建てることは、神の建造を破壊することになります。

このように建造のゴールと材料の本質を見極めて奉仕することは、会社におけるプロジェクトを推進することを助けます。プロジェクトに様々な項目を含んでいても、何がエッセンシャルな項目なのか、何が究極のゴールなのかを見極めることは極めて重要です。召会において、不注意に奉仕して木、草、刈り株で建てる人は、会社においても正しくプロジェクトを推進することができません。

経験②: 神の家によって測られ、神の家の建造に有用な人となる

私たちの主要な関心事は今日、正しく振る舞うことや霊的になることにさえありません。私たちの関心事は、神の家に符合すること、すなわち、私たちが神の家の中でどのように振る舞うかにあるべきです。主はエゼキエルに、律法、十戒をイスラエルの家に対して示すようには命じられませんでした。彼はまた、霊的な原則をイスラエルの家に対して示すようにも命じられませんでした。その反対に、主はエゼキエルに、彼の家をイスラエルの家に対して示すように命じられました。

仮にある青年が救われるとします。彼は救われる前、親や姉妹に実につらく当たっていました。今や彼は救われたので、どれほど尊敬をもって彼らを扱い、自分の父、母、姉妹との関係で正しくふさわしく振る舞うべきかを学びます。後ほど、彼は霊的になることや、自分を死んだと認めるような事を行なうことを学びます。彼は振る舞いが良く、ある事柄では霊的でさえあります。しかしながら、彼は完全に独立しています。彼は独立していて、他の人と進んで祈ろうとしません。そのように極端に独立している人は、神の家について何も知りません。彼は召会を全く顧慮しません。彼が行なうあらゆることは、個人的に自分自身のためです。何も召会、からだ、キリストの団体的な表現のためではありません。

中高生編

主はエゼキエルに、神の民に対して神の家を書き記すようにと指示しました。それは、彼らが家によって測られ、自分たちの罪科を恥じ入るようになるためです。神は、あなたを正しい振る舞いや、霊的になることの基準に従って測らず、神の家に従って測ります。実は、神の家に従って測られれば測られるほど、あなたは正しく暴露され、正しく成長することができるのです。神の家はキリストのからだであり、兄弟姉妹の内側のキリストが増し加わることで建造されます。物質的な体の中には多くの肢体があり、それらが調和して機能しているように、キリストのからだも同じです。からだの中には何の個人主義もありません。学校の中での文化祭や体育祭のチーム・ワークなども、実はキリストのからだの組み合わせと調和を学ぶためにあります。将来、大学に進学したり、その後就職しても、多くの事柄はチーム・ワークを必要とします。これらのチーム・ワークは、ある程度神の家の建造と類似性があります。

あなたは召会生活の中で、若い時から兄弟姉妹と組み合わせられて、自分の益のためではなく、建造のために奉仕することを学んでください。このことはあなたの能力を最大化するのに非常に役に立ちます。なぜなら、一方で、神はあなたに与えたタラントを最大限活用することを要求しており、もう一方で、神はあなたを神の家の建造に従って測るからです。建造によって測られることが、あなたの神によって与えられた能力を最大化させる唯一の道です。マタイ25章は、あなたがタラントを最大限に用いなければならぬことを、明確に示しています。

マタイ25:20 すると、五タラントを受けた者が来て、ほかに五タラントを持って来て言った、『ご主人さま、あなたは私に五タラントを渡されましたが、ご覧下さい、ほかに五タラントをもうけました』。21 主人は彼に言った、『よくやった、良い忠信な奴隷よ。あなたはわずかな事柄に忠信であった。私はあなたに多くの事柄を管理させよう。あなたの主人の喜びに入りなさい』。…24 一タラントを受けた者も来て言った、『ご主人さま、あなたは厳しい人で、まかなった所から刈り取り、散らさなかつた所から集めることを、私は知っていました。25 そこで私は恐ろしくなり、去って、あなたのタラントを地に隠しました。ご覧下さい、これがあなたのものです』。26 主人は彼に答えて言った、『邪悪で怠惰な奴隷よ。あなたは、私がまかなつた所から刈り取り、散らさなかつた所から集めることを知っていた。27 それなら、私の銀貨を両替人たちに預けておくべきであった。そうすれば、私が帰って来た時、利子と共に私のものを受け取ったであろう。(5タラントの者は、もう5タラントを、1タラントの者は、もう1タラントをもうけることを要求されていました)』

あなたは神の家によって測られ、他の人と組み合わせられて、唯一のゴールであるキリストのからだの建造のために奉仕してください。このことにおいて、あなたは個人主義を対処し、謙虚、柔和、辛抱強さ、愛の中で互いに担い合うことなどを学んでください。その結果、あなたの能力は最大化されることができ、あなたは学校においても、将来就職する会社においても有能な人材となることができます。神の建造に有用な人は、すべてのことに有用であるからです。アーメン！

エペソ4:16 この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

606 召会—その建造

1. 自己、てん然を捨て、けんぞうされて、
ともにみやとなり、えいこう満たす。
たかぶり、たんどく、とく異せいを捨て、
主の權威にふくし、主の住まいとなる。
2. せい長し、変えられ、供給し、建造され、
機のを果たして、ひとをしよう就す。
自分にぞくすもの、たかくひょう価せず、
すべてかたよらず、きん衡をたもつ。
3. かしらにつながり、主の豊富、享受す；
かみ増しくわり、円じゅくにいたる。
主のあいを知って、かん全にせい長し、
キリストの豊満の身のたけとなる。
4. みすまい、からだに、けんぞうされて、
主のうつわとなり、えい光あらわす。
はなよめ、みやこは、いまや地上にあり、
なが栄こう照らし、ひとにかがやく。

606 召会—建造

1. 救我脱离自己、天然，主阿，我愿被建造，
同眾圣徒作你圣殿，为著充满你荣耀。
救我脱离乖僻个性，脱离骄傲与单独；
使我甘愿服你权柄，让你有家可居住。
2. 生命供应，活水流通，长进、变化又配搭；
守住等次，尽我功用，成全别人，不践踏。
自己所经，自己所见，所是、所有並所能，
不再高估，不再稍偏，接受一切的平衡。
3. 持定元首，联络供应，享受基督的丰富；
充满神的一切丰盛，因神增加得成熟，
同尝基督莫测大爱，赏识基督的阔长；
长大成人，不作婴孩，满有基督的身量。
4. 作神居所，作你身体，主阿，我愿被建造，
成为你的团体大器，让你来显你荣耀。
圣城景色、新妇荣美，今在此地就彰显，
透出你的荣耀光辉，将你照耀在人间。

840 The Church - Her building

- 1 Freed from self and Adam's nature,
Lord, I would be built by Thee
With the saints into Thy temple,
Where Thy glory we shall see.
From peculiar traits deliver,
From my independent ways,
That a dwelling place for Thee, Lord,
We will be thru all our days.
- 2 By Thy life and by its flowing
I can grow and be transformed,
With the saints coordinated,
Builded up, to Thee conformed;
Keep the order in the Body,
There to function in Thy will,
Ever serving, helping others,
All Thy purpose to fulfill.
- 3 In my knowledge and experience
I would not exalted be,
But submitting and accepting
Let the Body balance me;
Holding fast the Head, and growing
With His increase, in His way,
By the joints and bands supplying,
Knit together day by day.
- 4 By Thy Spirit daily strengthened
In the inner man with might,
I would know Thy love surpassing,
Know Thy breadth and length and height;
Ever of Thy riches taking,
Unto all Thy fulness filled,
Ever growing into manhood,
That Thy Body Thou may build.
- 5 In God's house and in Thy Body
Builded up I long to be,
That within this corporate vessel
All shall then Thy glory see;
That Thy Bride, the glorious city,
May appear upon the earth,
As a lampstand brightly beaming
To express to all Thy worth.